

京都の木でつなぐ もり、まち、ひと

くぐのち

京都府産木材利用推進協議会情報誌

第3号
2025
10/31

「くぐのち」(久々能智神)
日本神話に登場する森と木の神様

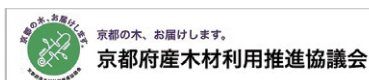


Event Report

『第3回 森林の魅力を体感 ～森林のめぐみを未来につなごう～』 で京都府産木材利用推進協議会の活動や取組のPRを行いました

令和7年9月27日(土) 京都府立植物園で開催された『第3回 森林の魅力を体感 ～森林のめぐみを未来につなごう～』において、京都府産木材利用推進協議会から協議会の概要や活動内容、現在ワーキンググループで勉強会を重ねている「木材のローリングストック」の取組の展示を行いました。

災害時の仮設住宅として検討中の9坪仮設軸組ハウスのミニチュア版(建物の寸法や使用部材を1/2スケールにしたもの)の建築実演や協議会の活動内容を紹介する展示を行い、多くの方(イベント当日の植物園来場者約5,000人)に協議会の取組を見ていただくことができました。



京都府産木材認証制度
(ウッドマイレージCO2)



辻井木材株式会社 京都府内産杉集成材「ひなた」で地産地消の確立を目指しております。

辻井木材株式会社は、明治 20 年の創業から 130 年、木材卸売業を生業として現在に至るまで、日本全国各地の産地から木材を仕入れ販売してきた歴史があります。その長年培ってきた技術と経験を基に、長い時を生き抜いてきた木材が放つ自然の生命力と温もりを、今までも、そしてこれからもお客さまにお届けし続けてまいります。

平成 7 年には舞鶴営業所においてプレカット工場を立ち上げ、主に住宅向けの構造材（柱・梁・桁など）を工場で生産し出荷しておりましたが、令和 6 年には大型木造建築物にも対応できるよう特殊加工機を導入し、近年増加しております住宅規模を超える中大規模の建築物（学校・庁舎・商業施設など）に対応し、あらゆる木造建築物へのご要望にお応えできるよう進化を続けております。

地産地消を推進するためには、信頼性の高い構造用集成材で性能の担保が必須と考え、京都府内産杉集成材「ひなた」を開発し、JAS 認定により強度・寸法安定に優れた商品づくりで京都の森林を守り、地域で活かすべく成熟している森林資源の活用を目指しております。「ひなた」は平成 22 年には「京都エコスタイル製品」、翌年には「カーボンフットプリント」（CFP）の認定を受けております。

また木造建築物の増加に対応するための安定供給を目指して、「京都市中大断面木材生産協同組合」を立ち上げ、製材・集成材・加工まで、府内一貫供給体制を整備し引き続き京都府内産木材の需要創出にも尽力してまいります。



辻井木材株式会社 〒604-8412 京都市中京区西ノ京南聖町13番地
取締役社長 辻井 大 TEL: 075-841-4386 FAX: 075-821-2593
E-mail : k-shintani@tsujimokuzai.co.jp
http://www.tsujimokuzai.co.jp
SNS : https://www.instagram.com/tsujimokuzai/

株式会社 大滝工務店 「よくしたい」をカタチにする**パートナー** 伴走者

弊社は住宅・オフィス・医療施設・社寺など幅広く建築づくりに携わっています。建築はひとの暮らしや事業活動を受け止める器であり、建築をつくることは暮らしをつくることです。工務店が良い暮らしづくりができれば、まちがもっと良くなります。

「作る」ことにこだわりたいからこそ、不況時においても自社大工の育成をし続けてきました。「創る」ことにこだわりたいからこそ、設計部と企画部を立ち上げデザイン力と企画力を磨いてきました。私たちはそれぞれが「つくる」ことへのこだわりを持ち続け、お客様との永続的なパートナーとして、お客様のより良い暮らしづくりに貢献してまいります。暮らしがよくなればまちが良くなる。まちが良くなれば地域が良くなる。地域が良くなれば日本が良くなる。そんな理想に向かってこれからもチャレンジし続けていきたいと思ひます。

弊社では、特に住宅の新築時に京都府産木材の使用を積極的に行うようにしています。京都府産木材を使用することで、木材輸送時の CO2 削減や森林整備促進といった効果があります。近年では、コンクリート造等の建物も増えてきていますが、木材には調湿性や断熱性、調温機能があり、室内の快適性を高めるとともに、木の香りには血圧を低下させ、リラックス効果が

あると言われており、利点がたくさんあります。また、京都府産木材を使用すると補助金が受けられるなどお客様からしてもメリットが多く、計画の段階からご提案させていただいています。食料で「地産地消」という言葉をよく耳にしますが、木材においても「地産地消」を心がけ、環境面への配慮もしながら京都府産木材の利用を広めていくことが、お客様の伴走者である弊社の使命だと思います。



株式会社 大滝工務店 〒624-0853 京都府舞鶴市宇南田辺126-5
代表取締役 大滝 雄介 TEL: 0773-75-3241 FAX: 0773-75-4724
E-mail : ohtaki-info@ohtaki.co.jp
Website : https://ohtaki.co.jp/
SNS : https://www.instagram.com/ohtaki.co.jp/

株式会社リヴ 住宅から宿泊施設まで。木造建築の可能性を追求したものづくりを。

1杯のコーヒーから、まちづくりまで。

乙訓地域で創業したリヴグループは、不動産をはじめ飲食や介護など、持続可能で豊かな未来づくりに貢献する、様々な事業を展開しています。地域密着を大切にする中で、中大規模の木造建築事業も展開。ホテルや福祉施設、自動車修理工場など。郊外・都市部を問わず、幅広いジャンルの建築実績があります。リヴグループの本社ビルSU・BA・COは、西日本初となる5階建て大型木造建築ビル。地域の様々な業種・規模の事業者が集う「巣箱」をイメージし、シェアオフィススペースを設けた、複合用途の商業ビルです。1階はカフェ、子育て支援施設として、地域住民の方々に解放しています。

地産地消の木造建築物は、地域の風景と馴染みやすいデザイン性や、断熱性や吸音性などの優れた居住性能を持ち、まちと人と企業、SDGsに相性が良い建物です。

「強度」「長寿命」「環境共生」の3点がそろい、コストパフォーマンスも◎。

リヴグループでは、地域の建物を、地域の木を使って、地域の工務店と職人がつくる、中大規模木造建築の普及を推進しています。

さらに、これまで培ったノウハウをもとに、京都府内で木材の

流通を完結する仕組みの構築に取り組んでいます。京都府産木材の加工から供給までを担うことで、京都の地域経済の活性化を促進。建築を通じて、京都の山林保全に貢献するとともに、京都で暮らす方々へ、安心や安全を届けられる企業でありたいと考えています。



株式会社リヴ
代表取締役 波野 賢

〒617-0002 向日市寺戸町七ノ坪141番地
TEL : 075-924-0211 FAX : 075-924-0212
E-mail : info@liv-r.co.jp
Website : https://liv-r.co.jp/
SNS : Instagram[@liv.otokuni]

林ベニヤ産業株式会社 京都府産材合板こそサステナブルな素材の VERY BEST

SINCE 1982

熱帯林は再生できませんが針葉樹林は自然更新や植林で永続的な再生が可能です。林ベニヤは1982年日本で初めて針葉樹合板の量産システムを完成。その後10年間は当社ひとりで普及に努めました。1992年南洋材が暴騰。地球環境問題がクローズアップされ熱帯林の伐採規制が強化されたからです。合板メーカーはこぞって針葉樹化を進めました。

現在の林ベニヤは使用原木の90%が国産材の針葉樹（スギ、ヒノキ、カラ松）になっています。

ACHIEVING SUSTAINABLE SOCIETY

- ・事業体制 本社（大阪市）、舞鶴工場（京都府）、七尾工場（石川県）
- ・生産能力 月産150万枚（10t車1,500台相当）
- ・バイオマス発電 6,800kW 於 舞鶴工場

舞鶴市家庭電力の約30%に相当し、エネルギーの地産地消を実現。

- ・林業参入への試行

京都府有林の一部を府に代わって林ベニヤが地主と管理契約。伐って使って植えて育てる「緑の循環」を目指します。

- ・住宅着工数と合板使用量

合板使用量を住宅着工戸数で割ると、1戸当たり6㎡（2024

年）で、過去10年6～7㎡でほぼ一定です。

- ・京都府産材合板の出荷量

京都府の住宅着工数（2024年）は17,465戸なので合板使用量は104,790㎡と推計できます。合板枚数に換算（12mm 910×1820）すると527万枚です。

上記に対し、京都府産材合板の出荷量は29万枚（2024年）なので京都府の合板使用量のわずか6%です。京都の家は他府県合板が建てているのが実態です。

住宅着工数がたとえ3割減ったとしても地産地消を進めれば京都府産材の消費は飛躍的に増加するのです。



林ベニヤ産業株式会社 〒541-0041 大阪市中央区北浜4丁目8番4号
代表取締役 内藤 和行 TEL : 06-6228-1401 FAX : 06-6228-1400
E-mail : info@hayashi-hys.co.jp
Website : http://www.hayashi-hys.co.jp/



Topics / Info 第7回京都の木の家づくり表彰事業の作品を募集しています！

京都府産木材（ウッドマイレージ CO2 京都の木認証材または京都の木証明材）を使用して建築、リフォームされた住宅や木材を利用した施設の優良事例の作品募集を行っています。

入賞作品	最優秀賞・京都府知事賞：1点以内（賞金 10 万円） 優秀賞：2 点以内（賞金 3 万円） 奨励賞：5 点程度 ※表彰は施主、設計者、施工者の三者を対象とし、表彰式を行う予定です。
応募規定	令和 7 年 11 月末までに、以下の書類を事務局へ提出してください。 (1) 応募調書（以下の作品募集 HP からダウンロードできます） (2) 施設等の図面 付近見取図（縮尺 1/2,500 程度）、配置図、各階平面図、4 面立面図、断面図を A3 サイズで作成 (3) 写真及び画像データ（350dpi 以上推奨） 遠景 1 枚以上、外観 2 枚（2 方向）以上、室内 2 枚以上、軸組 1 枚以上を台紙にプリントしたもの及び写真の画像データ
審査	以下の項目について審査を行い、必要に応じて現地審査を行った上で、総合的に判定します。 木材利用（新規性・PR 効果・有効利用・利用拡大） 建築技術 京の木文化（地域環境と生活文化）
応募先	京都府産木材利用推進協議会（事務局：京都府木材組合連合会） 〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町 41-3 TEL：075-802-2991 FAX：075-811-2593 Email:info@kyomokuren.or.jp
作品募集 HP	 https://www.kyomokuren.or.jp/blog/news/r7awards
過去の受賞作品	 過去の受賞作品は、こちらから https://openhouse.kyomokumoku.net/awards/



編集後記

第 2 号の発行から少し時間が経過しましたが「くぐのち第 3 号」をお届けいたします。

表紙でも掲載のとおり京都府立植物園で開催されましたイベントにおいて、本協議会の概要や活動などを知っていただくための取組を行いました。

本協議会として、実際に木材を利用する消費者の方々へ PR する取組は今回が初めてです。引き続き多くの方に本協議会や活動について知っていただくための取組を実施したいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。

また、本紙は会員の皆様の情報共有や交流の場となる協議会の案内誌です。第 3 号となる今号から、会員の皆様の業務概要や府内産材に対する思いを掲載していきます。

初めての会員紹介として、本協議会の運営を担っていただいている役員の会員の会員から寄稿いただき掲載しております。今後、順次会員の皆様にも投稿をお願いしたいと考えておりますので、是非とも協力をお願いいたします。

くぐのち 第 3 号

京都府産木材利用推進協議会情報誌

2025 年 10 月 31 日発行

編集・発行 京都府産木材利用推進協議会（広報委員会）

<事務局> 一般社団法人京都府木材組合連合会 京都市中京区西ノ京内畑町 41-3

TEL 075-802-2991 FAX 075-811-2593 E-mail info@kyomokuren.or.jp

デザイン 松田デザインラボ

